	環境要素の区分	環境の自然的構成			旨として調					及び評価される・	べき環境要素		を旨として		人と自然との豊いの確保を旨と 予測及び評価され 境要素	して調査、 れるべき環	環境への負荷の度により予測を されるべき環境	及び評価 竟要素
		大気	大気環境 傾	騒音及び 超低周波 音	振動	水質	環境 底質	その他 地形及び 地質	の環境 その他	動物		植物		生態系	景観	人と自然 との触れ 合い	廃棄物	等
影響要因の区		窒素酸化物	粉じん等	騒音及び 超低周波 音	振動	水の濁り	有害物質	重要な地 形及び地 質	風車の影	重要な種及び 注目すべき生 息地(海域に生 息するものを	海域に生 息する動 物	重要な種及び 重要な群落(海 域に生育する ものを除く。)	海域に 生育す る植物	地域を特 徴づける 生態系	主要な眺望点 及び景観資源 並びに主要な 眺望景観	主要な人 と自然と の触れ合 いの活動	産業廃棄物	残土
が音女囚い匹	\									除く。)		00/2 W (°)			加重从帆	の場		
工事の実施	工事用資材等の搬 入	0	0	0	0											0		
	建設機械の稼働	0	0	0	0	0	0											
	造成等の施工によ る一時的な影響					0				0		0		0			0	0
土地又は工 作物の存在	地形改変及び施設 の存在							0	0	0	0	0	0	0	0	0		
及び供用	施設の稼働			0					0									

備老

- 1 ○印は、各欄に掲げる環境要素が、影響要因の区分の項に掲げる各要因により影響を受ける恐れがあるものであることを示す。
- 2 この表における「影響要因の区分」は、次に掲げる発電所における一般的な事業の内容を踏まえ区分したものである。
- (1) 工事の実施に関する内容
- ア 工事用資機材等の搬出入として、建築物、工作物等の建築工事に必要な資材の搬出入、工事関係者の通勤、残土、伐採樹木及び廃材の搬出を行うこと。
- イ 建設機械の稼働として、建築物、工作物等の設置工事(既設工作物の撤去又は廃棄を含む。)を行うこと。なお、海域に設定されている場合は、浚渫工事を含む。
- ウ 造成等の施工として、樹木の伐採等、掘削、地盤改良、盛土等による敷地、搬入道路の造成及び整地を行うこと。なお、海域に設定される場合は、海底の掘削等を含む。
- (2) 土地又は工作物の存在及び供用に関する内容
- ア 地形改変及び施設の存在として、地形改変等を実施し建設された風力発電所を有すること。なお、海域における地形改変等を伴う。
- イ 施設の稼働として、風力発電所の運転を行う。
- 3 この表において「粉じん等」とは、粉じん、ばいじん及び自動車の運行又は建設機械の稼働に伴い発生する粒子状物質をいう。
- 4 この表において「風車の影」とは、影が回転して地上に明暗が生じる現象(シャドーフリッカー)をいう。
- 5 この表において「重要な地形及び地質」、「重要な種」、「重要な種及び重要な群落」とは、学術上又は希少性の観点から重要であるものをいう。
- 6 この表において「注目すべき生息地」とは、学術上又は希少性の観点から重要であること、地域の象徴であることその他の理由により注目すべき生息地をいう。
- 7 この表において「主要な眺望点」とは、不特定かつ多数の者が利用している眺望する場所をいう。
- 8 この表において「主要な眺望景観」とは、主要な眺望点から景観資源を眺望する景観をいう。
- 9 この表において「主要な人と自然との触れ合いの活動の場」とは、不特定かつ多数の者が利用している人と自然との触れ合いの活動の場をいう。

	፪所の設置又は変更 ≶項目	の事業に係る参考手法 参考手法	
	影響要因の区分	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	予測の手法
窒素酸化物	建設機械の稼働	1 調査すべき情報 気象の状況 2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の	1 予測の基本的な手法 事例の引用又は解析 2 予測地域 調査地域のうち、窒素酸化物の
		整理及び解析 3 調査地域 窒素酸化物の拡散の特性を踏まえて窒素酸化物に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域	拡散の特性を踏まえて窒素酸化物に 係る環境影響を受けるおそれがある 地域 3 予測地点
		4 調査地点	窒素酸化物の拡散の特性を踏ま えて予測地域における窒素酸化物に 係る環境影響を的確に把握できる地 点
	て東田次社の地	窒素酸化物の拡散の特性を踏まえて調査地域における窒素酸化物に 係る環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な期間及び 時期	建設機械の稼働による窒素酸化 物に係る環境影響が最大となる時期
	出入	1 調査すべき情報 気象の状況 2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の	 予測の基本的な手法 事例の引用又は解析 予測地域 調査地域のうち、窒素酸化物の
		整理及び解析 3 調査地域	拡散の特性を踏まえて窒素酸化物に 係る環境影響を受けるおそれがある 地域 3 予測地点
		4 調査地点 窒素酸化物の拡散の特性を踏まえて調査地域における窒素酸化物に 係る環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な地点 5 調査期間等	窒素酸化物の拡散の特性を踏ま えて予測地域における窒素酸化物に 係る環境影響を的確に把握できる地 点
		窒素酸化物の拡散の特性を踏まえて調査地域における窒素酸化物に 係る環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な期間及び 時期	****
粉じん等	建設機械の稼働	1 調査すべき情報 気象の状況 2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の 整理及び解析 3 調査地域	1 予測の基本的な手法 事例の引用又は解析 予測地域 調査地域のうち、粉じん等の拡 散の特性を踏まえて粉じん等に係る 環境影響を受けるおそれがある地域
		おじん等の拡散の特性を踏まえて粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがある地域 4 調査地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえて調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な地点	3 予測地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえて予測地域における粉じん等に係る環境影響を的確に把握できる地点 4 予測対象時期等
		5 調査期間等 粉じん等の拡散の特性を踏まえて調査地域における粉じん等に係る 環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な期間及び時期	建設機械の稼働による粉じん等 に係る環境影響が最大となる時期
	工事用資材等の 搬出入	1 調査すべき情報 気象の状況 2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の	 予測の基本的な手法 事例の引用又は解析 予測地域 調査地域のうち、粉じん等の拡
		整理及び解析 3 調査地域 粉じん等の拡散の特性を踏まえて粉じん等に係る環境影響を受ける おそれがある地域	散の特性を踏まえて粉じん等に係る 環境影響を受けるおそれがある地域 3 予測地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえ
		4 調査地点 粉じん等の拡散の特性を踏まえて調査地域における粉じん等に係る 環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な地点 5 調査期間等	て予測地域における粉じん等に係る 環境影響を的確に把握できる地点 4 予測対象時期等 工事用資材等の搬出入に用いる
騒音	建設機械の稼働	粉じん等の拡散の特性を踏まえて調査地域における粉じん等に係る 環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な期間及び時期 1 調査すべき情報	自動車の運行による粉じん等に係る 環境影響が最大となる時期 1 予測の基本的な手法
		(1) 騒音の状況 (2) 地表面の状況 (2) 地表面の状況 2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報(騒音の状況については、 騒音規制法第15条第1項の規定により定められた特定建設作業に伴って 発生する騒音の規制に関する基準に規定する騒音の測定の方法を用いら	音の伝搬理論に基づく計算 2 予測地域 調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえて騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域 3 予測地点
		れたものとする。)の収集並びに当該情報の整理及び解析 3 調査地域 音の伝搬の特性を踏まえて騒音に係る環境影響を受けるおそれがある地域	音の伝搬の特性を踏まえて予測 地域における騒音に係る環境影響を 的確に把握できる地点 4 予測対象時期等
		4 調査地点 音の伝搬の特性を踏まえて調査地域における騒音に係る環境影響を	建設機械の稼働による騒音に係 る環境影響が最大となる時期

参考	5項目	の事業に係る参考手法 参考手法	
環境要素の区分	影響要因の区分	調査の手法 予測し、及び評価するために適切かつ効果的な地点	予測の手法
		5 調査期間等	
		音の伝搬の特性を踏まえて調査地域における騒音に係る環境影響を 予測し、及び評価するために適切かつ効果的な期間、時期及び時間帯	
	工事用資材等の	1 調査すべき情報	1 予測の基本的な手法
	搬出入	(1) 道路交通騒音の状況(2) 沿道の状況	音の伝搬理論に基づく計算 2 予測地域
		(3) 道路構造及び当該道路における交通量に係る状況	調査地域のうち、音の伝搬の特
		2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報(道路交通騒音の状況につ	性を踏まえて騒音に係る環境影響を 受けるおそれがある地域
		いては、騒音に係る環境基準に規定する道路交通騒音についての測定の 方法、測定場所及び測定時刻を用いられたものとする。)の収集並びに	3 予測地点 音の伝搬の特性を踏まえて予測
		当該情報の整理及び解析	地域における騒音に係る環境影響を
		3 調査地域 音の伝搬の特性を踏まえて騒音に係る環境影響を受けるおそれがあ	的確に把握できる地点 4 予測対象時期等
		る地域	工事用資材等の搬出入に用いる
		4 調査地点 音の伝搬の特性を踏まえて調査地域における騒音に係る環境影響を	自動車の運行による騒音に係る環境 影響が最大となる時期
		予測し、及び評価するために適切かつ効果的な地点	
		5 調査期間等 音の伝搬の特性を踏まえて調査地域における騒音に係る環境影響を	
	佐辺の移働	予測し、及び評価するために適切かつ効果的な期間、時期及び時間帯 1 調査すべき情報	1 予測の其大的な手法
	施設の稼働	(1) 騒音の状況	1 予測の基本的な手法 音の伝搬理論に基づく計算
		(2) 地表面の状況 2 調査の基本的な手法	2 予測地域 調査地域のうち、音の伝搬の特
		文献その他の資料及び現地調査による情報(騒音の状況について	性を踏まえて騒音に係る環境影響を
		は、騒音に係る環境基準に規定する騒音についての測定の方法、測定場 所及び測定時刻を用いられたものとする。)の収集並びに当該情報の整	■ 受けるおそれがある地域3 予測地点
		理及び解析。	音の伝搬の特性を踏まえて予測
		3 調査地域 音の伝搬の特性を踏まえて騒音に係る環境影響を受けるおそれがあ	地域における騒音に係る環境影響を 的確に把握できる地点
		る地域 4 調査地点	4 予測対象時期等 発電所の運転が定常状態となる
		音の伝搬の特性を踏まえて調査地域における騒音に係る環境影響を	時期及び騒音に係る環境影響が最大
		予測し、及び評価するために適切かつ効果的な地点 5 調査期間等	になる時期(最大になる時期を設定 することができる場合に限る。)
		音の伝搬の特性を踏まえて調査地域における騒音に係る環境影響を	
振動	建設機械の稼働	予測し、及び評価するために適切かつ効果的な期間、時期及び時間帯 1 調査すべき情報	1 予測の基本的な手法
		地盤の状況 2 調査の基本的な手法	事例の引用又は解析 2 予測地域
		文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の	調査地域のうち、振動の伝搬の
		整理及び解析 3 調査地域	特性を踏まえて振動に係る環境影響 を受けるおそれがある地域
		振動の伝搬の特性を踏まえて振動に係る環境影響を受けるおそれが	3 予測地点
		ある地域 4 調査地点	振動の伝搬の特性を踏まえて予 測地域における振動に係る環境影響
		振動の伝搬の特性を踏まえて調査地域における振動に係る環境影響 を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な地点	を的確に把握できる地点 4 予測対象時期等
		5 調査期間等	建設機械の稼働による振動に係
		振動の伝搬の特性を踏まえて調査地域における振動に係る環境影響 を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な期間及び時期	る環境影響が最大となる時期
	工事用資材等の	1 調査すべき情報	1 予測の基本的な手法
	搬出入	交通量に係る状況 2 調査の基本的な手法	事例の引用又は解析 2 予測地域
		文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の	調査地域のうち、振動の伝搬の 特性を踏まえて振動に係る環境影響
		整理及び解析 3 調査地域	を受けるおそれがある地域
		工事用資材等の搬出入に使用する自動車が運行する予定の路線及び その周辺区域	3 予測地点 振動の伝搬の特性を踏まえて予
		4 調査地点	測地域における振動に係る環境影響
		振動の伝搬の特性を踏まえて調査地域における振動に係る環境影響 を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な地点	を的確に把握できる地点 4 予測対象時期等
		5 調査期間等	工事用資材等の搬出入に用いる
		振動の伝搬の特性を踏まえて調査地域における振動に係る環境影響 を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な期間及び時期	自動車の運行による振動に係る環境 影響が最大となる時期
水の濁り	建設機械の稼働	1 調査すべき情報 浮遊物質量の状況	1 予測の基本的な手法 事例の引用又は解析
		2 調査の基本的な手法	2 予測地域
		文献その他の資料及び現地調査による情報(浮遊物質量の状況については、水質汚濁に係る環境基準に規定する浮遊物質量の測定の方法を用	調査地域のうち、浮遊物質量の 拡散の特性を踏まえて水の濁りに係
		いられたものとする。)の収集並びに当該情報の整理及び解析	る環境影響を受けるおそれがあると
		3 調査地域 浮遊物質量の拡散の特性を踏まえて水の濁りに係る環境影響を受け	認められる地域 3 予測地点
		るおそれがある地域	浮遊物質量の拡散の特性を踏ま
		4 調査地点 浮遊物質量の拡散の特性を踏まえて調査地域における水の濁りに係	えて予測地域における水の濁りに係 る環境影響を的確に把握できる地点

	2/2 12 1 2 1 2 1 2 1 2	の事業に係る参考手法	
環境要素の区分	ぎ項目 影響要因の区分	参考手法 調査の手法	予測の手法
シベラロダオマンドガ	W B X D V C A	る環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な地点	4 予測対象時期等
		5 調査期間等	建設機械の稼働による水の濁り
		浮遊物質量の拡散の特性を踏まえて調査地域における水の濁りに係る環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な期間及び時	に係る環境影響が最大となる時期
		る現現形音を子例し、及び計画するために適切が72別末的な期間及び時期	
		1 調査すべき情報	1 予測の基本的な手法
	よる一時的な影響	浮遊物質量の状況 2 調査の基本的な手法	事例の引用又は解析 2 予測地域
		文献その他の資料及び現地調査による情報(浮遊物質量の状況につい	調査地域のうち、浮遊物質量の
		ては、水質汚濁に係る環境基準に規定する浮遊物質量の測定の方法を用いるとなる。	拡散の特性を踏まえて水の濁りに係る環境を影響を受けるかった。
		いられたものとする。)の収集並びに当該情報の整理及び解析 3 調査地域	る環境影響を受けるおそれがある地 域
		浮遊物質量の拡散の特性を踏まえて水の濁りに係る環境影響を受け	3 予測地点
		るおそれがある地域 4 調査地点	浮遊物質量の拡散の特性を踏ま えて予測地域における水の濁りに係
		2	る環境影響を的確に把握できる地点
		る環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な地点	4 予測対象時期等
		5 調査期間等 浮遊物質量の拡散の特性を踏まえて調査地域における水の濁りに係	造成等の施工による水の濁りに 係る環境影響が最大となる時期
		る環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な期間及び時	Mr. の水の水を見かられて、なっから 799
七字 枷節	本記機士の む 屋	期	1 予測の基本的な手法
有害物質	建設機械の稼働	1 調査すべき情報 有害物質に係る底質の状況	1 予測の基本的な手法 有害物質に係る底質の状況を把
		2 調査の基本的な手法	握した上で、事例の引用又は解析
		文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の 整理及び解析	2 予測地域 有害物質の拡散の特性を踏まえ
		3 調査地域	て建設機械の稼働による有害物質に
		しゅんせつ工事を行う区域	係る環境影響を受けるおそれがある
		4 調査地点 調査地域における底質の状況を把握するために適切かつ効果的な地	地域 3 予測地点
		点	有害物質の拡散の特性を踏まえ
		5 調査期間等 原則として底質の状況を把握するために適切かつ効果的な時期に1回	て予測地域における有害物質に係る 環境影響を的確に把握できる地点
		バンロ C C C M M へ かいし C 1口 M 7 M に い に 週 め ル - フ M 小 H か 4 m f 対 に 1 凹	4 予測対象時期等
			しゅんせつ工事による有害物質に係る環境影響が見ませれる時期
重要な地形及び	地形改変及び施	1 調査すべき情報	に係る環境影響が最大となる時期 1 予測の基本的な手法
地質	設の存在	(1) 地形及び地質の状況	重要な地形及び地質について、
		(2) 重要な地形及び地質の分布、状態及び特性 2 調査の基本的な手法	分布、成立環境の改変の程度を把握 した上で、事例の引用又は解析
		文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の	2 予測地域
		整理及び解析 3 調査地域	調査地域のうち、地形及び地質 の特性を踏まえて重要な地形及び地
		3 調査地域 対象事業実施区域及びその周辺区域	の特性を踏まれて里安な地形及い地 質に係る環境影響を受けるおそれが
		4 調査地点	ある地域
		地形及び地質の特性を踏まえて調査地域における重要な地形及び地 質に係る環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な地点	3 予測対象時期等 地形及び地質の特性を踏まえて
		5 調査期間等	重要な地形及び地質に係る環境影響
		地形及び地質の特性を踏まえて調査地域における重要な地形及び地 質に係る環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な時期	を的確に把握できる時期
風車の影	施設の稼働	1 調査すべき情報	1 予測の基本的な手法
		(1) 土地利用の状況(2) 地形の状況	等時間の日影線を描いた日影図
		2 調査の基本的な手法	の作成 2 予測地域
		文献その他の資料による情報の収集及び当該情報の整理	調査地域のうち、土地利用及び
		3 調査地域 土地利用の状況及び地形の特性を踏まえて風車の影に係る環境影響	地形の特性を踏まえて風車の影に係 る環境影響を受けるおそれがあると
		工型利用の状化及び地形の特性を踏またで風華の影に除る原境影響 を受けるおそれがあると認められる地域	認められる地域
		4 調査地点 土地利用の状況及び地形の特性を踏まえて調査地域における風車の	3 予測地点
		土地利用の状況及び地形の特性を踏まえて調査地域における風車の影に係る環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な地点	土地利用の状況及び地形の特性 を踏まえて予測地域における風車の
		5 調査期間等	影に係る環境影響を的確に把握でき
		土地の利用の状況及び地形の状況を適切に把握することができる時 期	る地点 4 予測対象時期等
		~~	発電所の運転が定常状態となる
			時期及び風車の影に係る環境影響が 最大になる時期
重要な種及び注	造成等の施工に	1 調査すべき情報	取人になる時期 1 予測の基本的な手法
	よる一時的な影	(1) 哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類及び昆虫類その他の主な動物に	重要な種及び注目すべき生息地
(海域に生息する ものを除		関する動物相の状況 (2) 重要な種及び注目すべき生息地の分布、生息の状況及び生息環	について、分布又は生息環境の改変 の程度を把握した上で、事例の引用
₹.)		境の状況	又は解析
		2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の	2 予測地域 調査地域のうち、動物の生息の
		文献での他の資料及の現地調査による情報の収集並びに当該情報の 整理及び解析	調査地域のすら、動物の生息の 特性を踏まえて重要な種及び注目す
		3 調査地域	べき生息地に係る環境影響を受ける
		対象事業実施区域及びその周辺区域 4 調査地点	おそれがある地域 3 予測対象時期等
1	1	• 1979 - A-CUIII	○ 1 b/1\/1 ≈2 231 Д

<u> </u>	項目 影響悪因の区分	<u>参考手法</u> 調査の手法	予測の手法
梁児女 茶♡ <u>△</u> 刀	<u> が音女囚</u> の区力	動物の生息の特性を踏まえて調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な地点又は経路 5 調査期間等	動物の生息の特性を踏まえて」 要な種及び注目すべき生息地に係 環境影響を的確に把握できる時期
	地形改変及び施 設の存在	動物の生息の特性を踏まえて調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果 的な期間、時期及び時間帯	
	施設の稼働	1 調査すべき情報 (1) 哺乳類及び鳥類に関する動物相の状況 (2) 重要な種及び注目すべき生息地の分布、生息の状況及び生息環境の状況 2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析 3 調査地域 対象事業実施区域及びその周辺区域 4 調査地点 動物の生息の特性を踏まえて調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な地点又は経路 5 調査期間等 動物の生息の特性を踏まえて調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な期間等 動物の生息の特性を踏まえて調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な期間、時期及び時間帯	調査地域のうち、動物の生息 特性を踏まえて重要な種及び注目 べき生息地に係る環境影響を受け おそれがある地域
海域に生息する動物	造成等の施工に よる一時的な影響	1 調査すべき情報 (1) 海生動物の主な種類及び分布の状況 (2) 干潟、藻場、さんご礁の分布及びそこにおける動物の生息環境の状況 (3) 重要な種及び注目すべき生息地の分布、生息の状況及び生息環境の状況	1 予測の基本的な手法 海生動物及び干潟、藻場、さ ご礁における動物の生息環境並び 重要な種及び注目すべき生息地に いて、分布又は生息環境の改盟の 質な地場となる。東側の改盟の
	地形改変及び施設の存在	夏の状況 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析 調査地域 対象事業実施区域及びその周辺区域 調査地点 動物の生息の特性を踏まえて調査地域における海生動物及び干潟、藻場、さんご礁における動物の生息環境並びに重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な地点又は経路 調査期間等 動物の生息の特性を踏まえて調査地域における海生動物及び干潟、藻場、さんご礁における動物の生息環境並びに重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な期間、時期及び時間帯	調査地域のうち、動物の生息 特徴を踏まえて海生動物及び干潟 藻場、さんご礁における動物の生 環境並びに重要な種及び注目すべ 生息地に係る環境影響を受けるお れがある地域
	よる一時的な影	1 調査すべき情報 (1) 種子植物その他の主な植物に関する植物相及び植生の状況 (2) 重要な種及び重要な群落の分布、生育の状況及び生育環境の状況 2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析 3 調査地域 対象事業実施区域及びその周辺区域 4 調査地点 植物の生育及び植生の特性を踏まえて調査地域における重要な種及び重要な群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な地点又は経路 5 調査期間等 植物の生育及び植生の特性を踏まえて調査地域における重要な種及	を把握した上で、事例の引用又は 析 2 予測地域 調査地域のうち、植物の生育 び植生の特性を踏まえて重要な種 び重要な群落に係る環境影響を受 るおそれがある地域
	地形改変及び施 設の存在	で重要な群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な期間、時期及び時間帯	
海域に生育する植物	よる一時的な影響	1 調査すべき情報 (1) 海生植物の主な種類及び分布の状況 (2) 干潟、藻場、さんご礁の分布及びそこにおける植物の生育環境の状況 2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析 3 調査地域 対象事業実施区域及びその周辺地域 4 調査地点 植物の生育の特性を踏まえて調査地域における海生植物及び干潟、藻場、さんご礁における植物の生育環境に係る環境影響を予測し、及び	調査地域のうち、植物の生育 特性を踏まえて海生植物及び干潟 藻場、さんご礁における植物の生 環境に係る環境影響を受けるおそ がある地域

	ぎ項目 影響要因の区分	参考手法調本の手法	
環境要素の区分	影響要因の区分	調査の手法 植物の生育の特性を踏まえて調査地域における海生植物及び干潟、 藻場、さんご礁における植物の生育環境への影響を予測及び評価するた めに適切かつ効果的な期間、時期及び時間帯	予測の手法 おける植物の生育環境に係る環境影響を的確に把握できる時期
地域を特徴づけ る生態系	造成等の施工に よる一時的な影響 地形改変及び施 設の存在	1 調査すべき情報 (1) 動植物その他の自然環境に係る概況 (2) 複数の注目種等の生態、他の動植物との関係又は生息環境若しくは生育環境の状況 2 調査の基本的な方法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析 3 調査地域 陸域における対象事業実施区域及びその周辺区域 4 調査地点	1 予測の基本的な手法 注目種等について、分布、生息 又は生育環境の改変の程度を把握し た上で、事例の引用又は解析 2 予測地域 調査地域のうち、動植物その他 の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえて注目種等に係る環境影響を受けるおそれがある地域 3 予測対象時期等
	施設の稼働	動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえて調査 地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために適 切かつ効果的な地点又は経路 5 調査期間等 動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえて調査 地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために適 切かつ効果的な期間、時期及び時間帯	動植物その他の自然環境の特性 及び注目種等の特性を踏まえて注目 種等に係る環境影響を的確に把握で きる時期
び景観資源並びに主要な眺望景観	設の存在	1 調査すべき情報 (1) 主要な眺望点 (2) 景観資源の状況 (3) 主要な眺望景観の状況 2 調査の基本的な方法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析 3 調査地域 対象事業実施区域及びその周辺区域 4 調査地点 調査地域における景観の特性を踏まえて調査地域における主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な地点 5 調査期間等 調査地域における景観の特性を踏まえて調査地域における主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な期間及び時期	1 予測の基本的な手法 (1) 主要な眺望点及び景資源について、分布の改変の程度を把握し、事例の引用又は解析 (2) 主要な眺望景観について、完成予想図、フォトンの上が立法その他の視覚的な表現手法 2 予測地域 調査地域のうち、調査地域における景観の特性を踏立びに主要な眺望景観に係る環境影響を受けるおそれがある地域 3 予測対象時期等 調査地域における景観の特性を踏まえて主要な眺望点及び景観で景観でいる景観の特性を踏まえて主要な眺望点と係る環境影響を的確に把握できる時期
主要な人と自然との触れ合いの活動の場		1 調査すべき情報 (1) 人と自然との触れ合いの活動の場の状況 (2) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況 2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析 3 調査地域 工事用資材等の搬出入に使用する自動車の運行が予定される路線及びその周辺区域 4 調査地点 人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえて調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な地点 5 調査期間等 人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえて調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえて調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な期間、時期及び時間帯	調査地域のうち、人と自然との 触れ合いの活動の場の特性を踏まえ て主要な人と自然との触れ合いの活 動の場に係る環境影響を受けるおそ れがあると認められる地域
	地形改変及び施設の存在	1 調査すべき情報 (1) 人と自然との触れ合いの活動の場の状況 (2) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況 2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析 3 調査地域 対象事業実施区域及びその周辺区域 4 調査地点 人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえて調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な地点 5 調査期間等 人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえて調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために適切かつ効果的な期間、時期及び時間帯	1 予測の基本的な手法 主要な人と自然との触れ合いの 活動の場について、分布又は利用環境の改変の程度を把握した上で、事 例の引用又は解析 2 予測地域 調査地域のうち、人と自然との 触れ合いの活動の場の特性を踏まえ て主要な人と自然との触れ合いる活動の場に係る環境影響を受けるおそ れがある地域 3 予測対象時期等 人と自然との触れ合いの活動の 場の特性を踏まえて主要な人と自然 との触れ合いの活動の場に係る環境 影響を的確に把握できる時期

別紙2

(13) 風刀光電	別の以直入は多文	の事業に依る参与于伝		
参考	等項目	参考手法		
環境要素の区分	影響要因の区分	調査の手法	予測の手法	
産業廃棄物	造成等の施工による一時的な影響		 予測の基本的な手法 産業廃棄物の種類ごとの排出量 の把握 予測地域 対象事業実施区域 予測対象時期等 工事期間 	
残土	造成等の施工に よる一時的な影響		 予測の基本的な手法 残土の排出量の把握 予測地域 対象事業実施区域 予測対象時期等 工事期間 	

- 1 この表において「粉じん等」とは、粉じん、ばいじん及び自動車の運行又は建設機械の稼働に伴い発生する粒子状物質をいう。 2 この表において「重要な地形及び地質」、「重要な種」、「重要な種及び重要な群落」とは、それぞれ学術上又は希少性の観点から重要なものを
- 2 この表において「黒本な地ル及び地界」、 エスの出」、 エスの出まり、 エスの表において「風車の影」とは、影が回転して地上に明暗が生じる現象 (シャドーフリッカー) をいう。 3 この表において「注目すべき生息地」とは、学術上又は希少性の観点から重要である生息地又は地域の象徴であることその他の理由により注目す べき生息地をいう。

- 5 この表において「主要な眺望点」とは、不特定かつ多数の者が利用している景観資源を眺望する場所をいう。 6 この表において「主要な眺望景観」とは、主要な眺望点から景観資源を眺望する場合の眺望される景観をいう。 7 この表において「主要な人と自然との触れ合いの活動の場」とは、不特定かつ多数の者が利用している人と自然との触れ合いの活動の場をいう。